



No. 119

ティー・ブレイク

## Tea Break

人間センサ

ラーメン横丁などで店を選ぶ際には「行列ができているところに並べ」と言われる一方で、証券界には昔から「人の行く裏に道あり。花の山」という諺がある。そして、「弁理士」という資格も、かつては「人の行く裏…」であったようなものが、今では「行列…」のほうになりつつある。もちろん、そのどちらが正しいかという難しい論議はあるものの、人があまり行かない“穴場”というのは、知っていると思得した気分になるものである。

例えば、ディズニーランドなどでも、いくつかの穴場というものが紹介されている。けれども、これを探す最も簡単な方法は、入場制限がなされている日に入場して、人だかりがしているところを探すことである。入場制限の日、入場保証がなされている年間パスポートで入場する人の割合が多く、彼らはかの場所の殆どを知り尽くしているために、その動向を見れば、穴場を簡単に発見することができるのである。

そう、穴場というのは、要するに、達人だけが知っている“要所”のことである。であるから、苦労して穴場に到達することによって、あたかも自分が達人になったかのような達成感が楽しめるし、労せずして穴場を発見することによって、凄く得をした気分になるのである。

ところで、ディズニーランドというのは、夢と魔法の国という触れ込みであるが、いたって大人っぽいことを言うところでもある。「イツ・ア・スモールワールド」などでも、アトラクションそれ自体は多くの子供が登場するものなのであるが、世界は丸くて小さくてひとつ、みたいな歌詞や、みんな輪になって手をつなごう小さな世界、というあたりのくだりは、明らかに大人に対しても言っている。

また、「カリブの海賊」では、海賊が女の人を追いかけ回しているし、昼間のパレードでは、フレンチカ

ンカンの格好をしたキャラクターがスカートを捲り上げて踊る。そして、乳幼児が対象の「トゥーン・タウン」ですら、娼婦が酒場の男を誘惑している姿を描いている場所がある。

こうしたことを「けしからん」と思う人もいるであろう。そして日本では、そういった「都合の悪いもの」は隠すというのが、一般的に行なわれていることである。そうして子供を、本当の「夢の国」の住人にしたがる。けれども、本場の「夢と魔法の国」ではそんなことがおおびらに開示され、子供は、大きくなったときに、その本当の意味を知るのである。

そして、「女性というのは、自分に何の非もないのに男に襲われることがあるし、女性というのはごく自然に男性の気を惹くかのような仕草をすることがある」という現実をきちんと知った上で行動することができるようになる。現に、「そう思ってさえいれば防げた」と思われるような悲惨な事件も、いくつか見られる。

ここまで読んで、気分を悪くしたり、なかには怒りを感じた方も居られるかもしれない。そしてその気持ちも、よく分かる。ただ、こうして日々「経営という仕事」をしていると、ディズニーランドのパレードを見た感想を聞くだけで、その人の人柄や扱い方が分かるものである。ましてや、ここまで読んだ感想を聞けば、その答えの是非はさておいて、その人の人柄や扱い方がなおさらのことよく分かってしまう。

特に、会社の経営者や事務所の所長に聞けば、都合の悪いことをひた隠しに隠して経営をしているのか、それとも、失敗をざっくばらんに言い合って、その問題の解決に一丸となって取り組むような積極的な経営をしているのか、悲しいくらいに分かってしまうものなのである。

(正)